

日本学習社会学会第9回大会開催にあたって

日本学習社会学会第9回大会
大会実行委員長
金塚基（東京未来大学）

本学会員の皆様におかれましては益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

日本学習社会学会の第9回大会を東京未来大学（東京都足立区）にて開催させていただくことになりました。東京未来大学は、開学6年目を迎えた新しい大学ですが、本年度よりさらに新しい学部（モチベーション行動科学部）が新設されました。経験の浅い私が実行委員長という大役を引き受けさせていただいた背景には、当（新）学部の所属教員となったことがきっかけでございました。

数年先から受験生の激減が予測されるなか、今後、ますます多くの大学等で経営・運営方針の転換や統廃合等が実施されていくと考えられております。今大会のシンポジウム・テーマとも深くかかわる点でございますが、高等教育機関が大きく変化していこうとする一方で、学生自身の学習意欲やその動機づけといったものの急激な減退がみられるともいわれております。モチベーション行動科学部の開設は、そうした人間のモチベーションをテーマに切り込もうとする新たな試みのひとつといえます。

また、今回も多くの自由研究発表に応募いただきました結果、課題研究発表と同様に、いたるところで活発な議論が湧き起こると確信しております。第9回目の大会となりましたせいか、発表テーマに本学会の独自性がみられ、成熟されつつあるように感じられるのは気のせいではないと思われまます。

なお、本大会の準備には本学の田中真奈美先生に実務の多くをお願いし、その他にも非常勤講師としてお世話になっている先生方および本学学生にもご協力をいただいております。新設大学であるゆえ、会員の皆様にはご不明・ご不便な点などもお感じになられることが多々あるかも知れませんが、是非、多くの方々のご研鑽の一助につながっていくことを祈念しております。

日本学習社会学会 第9回大会

I. 大会日程 2012年9月1日(土)～2日(日)

II. 大会スケジュール

9月1日(土)のスケジュール

11:20 ~ 12:30	12:30 ~	12:45	13:00 ~ 14:30		14:40 ~ 15:40		15:50 ~ 18:20		18:30 ~	
理事会 1F/B121	受付	開会 式 1F B121	自由研究 発表 I (1F/B121)	休 憩	総会 4F/B421	休 憩	公開シ ンポジ ウム 4F/B421	移 動	懇親 会 1F 学 生 ホ ー ル	
			自由研究 発表 II (3F/B323)							
			自由研究 発表 III (3F/B324)							

9月2日(日)のスケジュール

9:00~	9:30~	12:30	13:30~16:15
受付	課題研究発 表 I 2F/B225	昼 食	自由研究発表IV 1F/B121
	課題研究発 表 II 3F/B327		自由研究発表 V 3F/B323
			自由研究発表 VI 3F/B324

- ・会場：東京未来大学（東京都足立区千住曙町 34-12）※懇親会も同会場内となります。
- ・大会参加費・懇親会費につきましては、大会当日、受付にて以下の金額をお支払いください。 ※近所にATMはございませんので、現金を事前にご準備ください。
- ・参加費：3000円

・懇親会費：4000 円

※非会員の方も臨時会員としてご入場いただけます。

Ⅲ. ご昼食について

大会期間中の学内食堂は休業となっております。学外徒歩 5～10 分にファミリーレストラン、コンビニエンスストア等がございますが、事前にご持参ください。

なお、大会 2 日目のご昼食につきましては、2 日目当日に大会受付にて 10 時前までにお弁当券（800 円・中華弁当のみ）をお申込みいただければご用意が可能です。

Ⅳ. ご宿泊

東武スカイツリー沿線に多数のホテルがございます。お早めに、各自で宿泊をご手配ください。

（ご参考ホテル）

ホテルココ・グラン北千住（足立区千住 3 丁目 40-2 Tel 03-5284-1155）

ホテルユニゾ浅草（東京都台東区浅草 1-9-2 TEL 03-5828-3351）

ホテルパインヒル綾瀬（東京都葛飾区小菅 4-9-1 TEL 03-3690-4131）

Ⅴ. 大会実行委員会

実行委員長 金塚基（東京未来大学）

事務局長 田中真奈美（東京未来大学）

実行委員 鈴木光男（東京未来大学）

実行委員 鄭任智（東京未来大学非常勤）

実行委員 木田竜太郎（東京未来大学非常勤）

大会実行事務局：

〒120 - 0023 東京都足立区千住曙町 34-12

東京未来大学 モチベーション行動科学部 田中真奈美（407 研究室）

tanaka-manami@tokyomirai.ac.jp

TEL:03-5813-2525（代）

●会場（東京未来大学）までのご案内

会場までの最寄り駅は東武スカイツリーライン「堀切」となります（徒歩 2～3 分）。

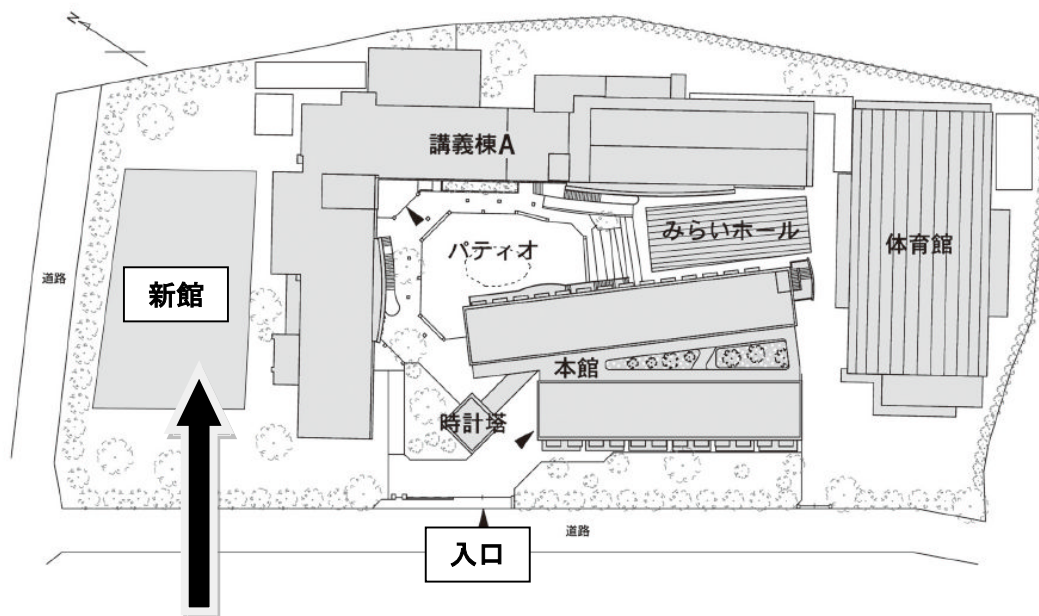
また、京成線「京成関屋」（徒歩 10 分）からでも便利です。

※東武スカイツリーライン「準急」および「急行」は大学最寄り駅の「堀切」を停車いたしませんのでご注意ください。（「区間準急」ならびに「区間急行」は「堀切」に停車いたします）。

詳細は、<http://www.tokynomirai.ac.jp/access/>にてご確認ください。




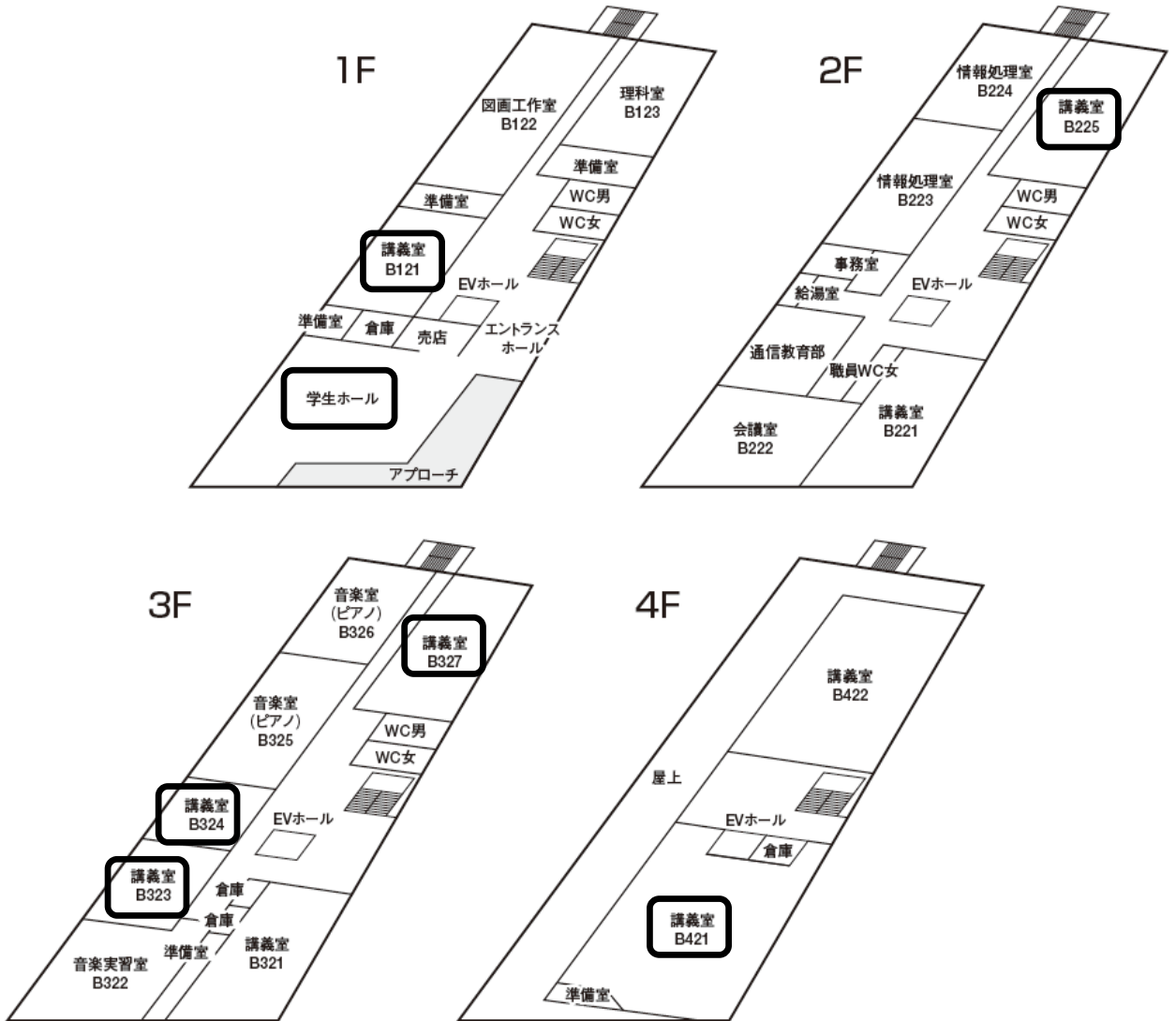
学内マップ



大会会場です

新館（講義棟 B）案内図

 が大会期間中の使用教室等です



自由研究発表 I

講義室 B121 (1F)

9月1日(土) 13:00~14:30

司会 三輪 建二 (お茶の水女子大学)

13:00~13:40

学習社会におけるミドルリーダーシップ開発の課題

○小島 弘道 (龍谷大学・京都教育大学大学院連合教職実践研究科)

○太田 由枝 (京都市立川岡小学校)

熊谷 慎之輔 (岡山大学)

○末松 裕基 (上越教育大学)

13:40~14:10

全体討議

自由研究発表Ⅱ

講義室 B323 (3F)

9月1日(土) 13:00~14:30

司会 赤尾 勝己 (関西大学)

13:00~13:30

S市における生涯学習推進の現状と今後について

風間 効 (グローバ教育総合研究所)

13:30~14:00

成人インドシナ難民の抱える教育・学習に関する課題とその原因に関する考察
ー神奈川・東京におけるインタビュー調査結果を踏まえてー

大谷 杏 (早稲田大学大学院)

14:00~14:30

全体討議

自由研究発表Ⅲ

講義室 B324 (3F)

9月1日(土) 13:00~14:30

司会 金山 光一 (相模原市立鶴の台小学校)

13:00~13:30

高校教育研究 18

村立おといねっふ美術工芸高校の実践

永田 進 (道都大学)

13:30~14:00

多文化共生社会における生活課題解決能力育成のための教材開発
ー市民講座における実践を踏まえてー

星野 洋美 (常葉学園大学)

14:00~14:30

全体討議

公開シンポジウム

講義室 B421 (4F)

9月1日(土) 15:50~18:20

テーマ 学習とモチベーション

子どもの学ぶ意欲、若者のニートやひきこもりと働く意欲との関係など、努力・学習しようとする全般的な意欲低下の論争が盛んに行われている。本課題は、個人的な意欲の問題のみならず社会生活の全体的な環境から導きだされるものであるが故に、いまほど問われている時代はなかったといえる。これからの社会において重要となる、個々人の「学習」「学び」を促すような意欲を支えるモチベーションとはなにか。その困難なテーマの探究に向けて、多方面の専門分野の研究者・実践家に、それぞれの立場からモチベーションの問題に切り込んでいただく。

【コメンテーター】 金塚 基 (東京未来大学)

【報告】

日米大学生の学びにおけるモチベーションの相違

田中真奈美 (東京未来大学)

近世寺子屋教育にみる学習意欲の喚起 (仮題)

菱田 隆昭 (こども教育宝仙大学)

学習の視点から職場の機能を考える (仮題)

田中 康之 (株式会社リンクアンドモチベーション)

ポジティブな社会を築くためのモチベーション

～コミュニケーション力・スキルの向上～(仮題) 大坊 郁夫 (東京未来大学)

※公開シンポジウムは、会員以外の方々でも無料で参加できますので、お気軽にご参加ください。

課題研究発表 I

講義室 B225 (2F)

9月2日(日) 9:30~12:30

テーマ 保護者・地域住民の学校経営参加制度の自治体における実践的位置づけと方法論を問う(仮題)

昨年度の課題研究 I では、日米英の学校経営参加制度の到達点と課題と題し、日本の制度実態や課題に、英米の課題分析を重ねる形で展開された。これに引き続き本課題研究では、保護者・地域住民の学校経営参加制度の自治体における実践的位置づけや方法論を検討することを目的とする。

日本では、学校運営協議会設置校が本年 4 月には 1,000 校を超えるなど、学校経営参加の制度が広まりを見せているが、各自治体や学校における位置づけは一様でない。例えば自律的学校経営と学校分権の受け皿としての役割への期待、地域づくりへの期待、教育課程改善への期待、校種間連携の期待などさまざまである。さらに、新自由主義的な政策のもとで生み出されたとされる「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」47 条の五が規定する学校運営協議会が、自治体の教育改革・行政改革の進む方向性との関係でどのような意味合いを持っているのかも重要な検討課題である。

また、保護者・地域住民と連携し、その要望を学校運営に反映させるという目的への方法論としても、いわゆる「〇〇型」というような自治体名を冠する学校づくりのモデルが示されていたり、独自の型の学校協議会を推進している例もあるなど、国の法制度の厳密な適用とは異なる様々な形態が見られる。

これらの動向を踏まえ、自治体関係者や学校関係者、各々の視点から、学校経営参加制度の自治体における実践的位置づけや方法論について、現状の把握と問題提起を行う。

【コーディネーター】 岩永 定(熊本大学) 仲田 康一(浜松大学)

【報告者】

- 笠井 尚(中部大学)
- 瀨瀬 仁志(神奈川県教育委員会)
- 中曽根 聡(杉並区教育委員会)

課題研究発表Ⅱ

講義室 B327 (3F)

9月2日(日) 9:30~12:30

国際シンポジウム：東アジアの社会教育法制の課題

課題と方法

現在、日本の社会教育（法制）の課題として、社会教育の新自由主義化がある。実際、90年代以降の生涯学習施策は、公的な「社会教育」を「生涯学習」という個人の営みへ解体する脱制度化と社会教育関連機関・施設の民営化が進行している。実際、「公民館」や「図書館」は予算・人員の削減化の中で指定管理者制度の導入による民間委託化が進行し、社会教育事業の主体も教育行政機関（教育委員会）から総合行政部局（首長）に変更されようとしている。

日本の社会教育（行政）はすでに解体し、崩壊しているのか。それともその再生の可能性はあるのか。近年、一部の地方では市場化を志向する民営化ではなく、NPOによる社会教育形成など民主化を志向する民営化が生じている。また、学校と学区社会との協働により新しい学習社会の公共空間を形成しようとする取り組みがある。

本課題研究は、社会教育法制・政策の現状に関して単に東アジア諸国の比較考察をするのではなく、イシュー・アプローチの方法を取る。そのため、先に日本の社会教育法制上のイシュー（問題・課題）を提示し、それに対する東アジア諸外国の研究者の解釈と課題解決の方法論の提示をお願いするという手順をとる。

それにより、社会教育の市場化という問題意識の共有化と新しい公共形成論にもとづく社会教育の再生の可能性の発見ができると信じる。（文責；篠原）

【コーディネーター】 篠原 清昭（岐阜大学）

【報告者】

- 石井山 竜平（日本；東北大学）
- 牛 志奎（中国；北京師範大学）
- 周 志宏（台湾；台北 教育大学）
- 高 鏞（韓国；済州大学校）

自由研究発表Ⅳ

講義室 B121 (1F)

9月2日(日) 13:30～16:15

司会 堀井 啓幸(山梨県立大学) 堀越 幾男(足立区教育委員会)

13:30～14:00

東日本大震災時における学校と地域の協働の実態
～被災地における学校調査の結果から～

高橋 興(青森中央学院大学経営法学部)

14:00～14:30

学校・家庭・地域の連携における学習支援ボランティアの取り組みに関する一考察

西村 彩恵(越谷保育専門学校)

14:30～15:00

育児期の保護者の生活実態と子育て支援

安井 智恵(岐阜女子大学)

15:00～15:30

壁新聞からスカイプ授業交流へー震災から始まった大船渡小学校との心の交流ー

金山 光一(相模原市立鶴の台小学校)

15:30～16:15

全体討議

自由研究発表Ⅴ

講義室 B323 (3F)

9月2日(日) 13:30~16:15

司会 岩崎 正吾(早稲田大学) 森岡修一(大妻女子大学)

13:30~14:00

中国における多文化教育の生成と展開

孫 儀 (早稲田大学大学院)

14:00~14:30

中国の教師教育における「省察」概念の受容

木全 晃子 (関東短期大学)

14:30~15:00

陶行知の創造性教育実践に関する考察——現代中国における位置づけについて

張 鵬 (早稲田大学大学院)

15:00~15:30

アイヌ語学習と言語権

上野 昌之 (埼玉学園大学 (非常勤))

15:30~16:15

全体討議

自由研究発表VI

講義室 B324 (3F)

9月2日(日) 13:30~16:15

司会 武井 敦史(静岡大学) 山崎 清男(大分大学)

13:30~14:00

A社における産業看護活動 産業保健師の実践を学習支援の視点でとらえなおす

梶山 委都子 (お茶の水女子大学大学院)

14:00~14:30

地域の生活・風土に根ざした造形活動を軸につなぐ国際交流の絆
～熊本県芦北町とカンボジア・チュレイタソー村の小学校での実践～

鈴木 光男 (東京未来大学)

14:30~15:00

若者支援NPOにおける市民教育実践

滝口 克典 (ぷらっとほーむ)

15:00~15:30

ICT 草の根ネットワークによる学びの可能性

石田 千晃 (お茶の水女子大学)

15:30~16:15

全体討議